

会計人の教養

9

2016 SEPTEMBER



学校法人高橋学園

専門学校

東京CPA会計学院熊本校

朝礼実習の進め方

<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">社長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教養長</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">進行</div> </div>	<p>進行役：① 一步前へ出る</p> <p>② 目線を全員に配る</p> <p>③ 15度の黙礼</p> <p>④ 「開始5秒前です。姿勢を正してください。」</p> <p>④ 元の位置に素早く戻る</p> <p style="text-align: center;">＝5秒後＝</p> <p>⑤ 15度の黙礼</p> <p>⑥ 「東京CPA会計学院、〇〇△△（フルネーム）、進行いたします。」</p> <p style="padding-left: 20px;">「〇月〇日〇曜日、ただいまより朝礼を始めます。」</p> <p style="padding-left: 20px;">「朝の挨拶、〇〇社長！」</p> <p>⑦ 元の位置に素早く戻る</p>
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">進行</div> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教養長</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">社長</div> </div>	<p>社長役：① 素早く一步前（輪の中央）に出る。</p> <p>② 目線を全員に配る</p> <p>③ 「みなさん！」</p> <p>全 員： 「おはようございます（30度の礼）」</p> <p>社長役：④ 「今日のスピーチ」</p> <p>全 員：⑤ 15度の黙礼</p> <p>社長役： 元の位置に素早く戻る</p>
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">進行</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">社長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">挨拶長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">教養長</div> </div>	<p>進行役：① 一步前へ出る</p> <p>② 「挨拶実習、リーダー〇〇さん！」</p> <p>挨拶長：① 「はい！」</p> <p>② 「挨拶実習を始めます。お願いします！（30度の礼）」</p> <p>全 員：「お願いします！」</p> <p>挨拶長：① 「おはようございます！」</p> <p style="padding-left: 20px;">② 「おねがいします！」</p> <p style="padding-left: 20px;">③ 「ありがとうございました」</p> <p style="padding-left: 20px;">④ 「失礼します」</p> <p style="padding-left: 20px;">⑤ 「以上で挨拶実習を終わります！」</p> <p style="padding-left: 40px;">ありがとうございました（30度の礼）」</p> <p>全 員：「ありがとうございました（30度の礼）」</p> <p>挨拶長：元の位置に素早く戻る</p>

<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">進 行</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">社 長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶 長</div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教 養 長</div> </div> </div>	<p>進行役：①一歩前へ出る</p> <p style="padding-left: 20px;">②「会計人の教養輪読、リーダー〇〇さん！」</p> <p>教養長：①「はい！」</p> <p>進行役：元の位置に素早く戻る</p> <p>教養長：「お願いします！」</p> <p>全 員：「お願いします！」</p> <p>教養長：① 全員の体制が整ったのを確認</p> <p style="padding-left: 20px;">②「〇ページをお開き下さい」</p> <p style="padding-left: 20px;">③「〇月〇日〇曜日、『テーマ』、『本文』」</p> <p style="padding-left: 40px;">★段落ごとに教養長が「はい！」と区切る</p> <p style="padding-left: 40px;">★順番に「はい！本文(途中段落)…」と続けて本文を読む</p> <p style="padding-left: 40px;">★最後に教養長が「はい！ありがとうございました。本文(最終段落)…」</p> <p style="padding-left: 20px;">④ 全員が落ち着いたことを確認</p> <p style="padding-left: 20px;">⑤「今日の心がけを斉唱いたしましょう」</p> <p style="padding-left: 40px;">「今日の心がけ！」</p> <p>全 員：「〇〇〇をしましょう！」</p> <p>教養長：「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>全 員：「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>教養長：元の位置に素早く戻る</p>
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">進 行</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">社 長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶 長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教 養 長</div> </div> </div>	<p>進行役：①一歩前へ出る</p> <p style="padding-left: 20px;">②「以上で朝礼を終わります。」</p> <p style="padding-left: 40px;">「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>全 員：「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>進行役：「解散します！解散！」</p> <p>全 員：「はい！」</p>

21 20 17 16 15 13 12 10 9 8 7 6 5 3 2 1

水 火 土 金 木 火 月 土 金 木 水 火 月 土 金 木

目に見えないもの
体育大会
シルバークウイク
星座
十五夜
宇宙
お笑い
9・11
一人の時間
妖怪
トンボ
花火
信頼を売る
スワンプマン
夏休み
バスハイク

16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

すぐやる

必ずやる

出来るまでやる

永守重信

学校掲示「今日の言葉 2015年3月30日分」より

※「今日の言葉」とは、学生が毎日交代で名言・格言を書くコーナーです。

30 29 28 27 26 23

金 木 水 火 月 金

ナ 稲 財 挨 漢 団
ン 盛 閥 拶 字 扇
バ 和
ろ 夫
う

22 21 20 19 18 17

2016 SEPTEMBER 平成28年 長月 [ながつき]

第2巻9号(通算15号)

今月の目標

※ここに、今月の目標を記入しましょう。

CPAでは、1日だけ簿記を忘れ、思いっきり遊ぶ、バスハイクという行事があり、その行先は学生自ら決定します。

行先の案が複数出た場合は、案の中から行きたいところをグループを組み、前半後半の2回に分けのプレゼンを行います。全員が、2度のプレゼンを聞いてから、行きたいと思ったグループに投票し、投票数の多かったグループの案がバスハイクの行先です。

ある題材に対して、グループで意見をまとめたり、問題の解決に当たることは、就職してから、多々あることだと思います。そのような時、どうすれば票を集めることができるのかを考え、票を集めるために、自分はこのグループでどのような役割につき、どのような動きをするのかを判断して、活動しなければなりません。

そのためには、今の自分には、何をどのレベルで行うことができるのかを把握しておかなければなりません。

そして、多くの問題を解決するためには、知識とひらめき、そして何より、それを実現させる熱意とスキルを持って、この世を生き抜いてきましょう。

今日の心がけ◆自分にできることを確認しましょう。

夏休みは、温帯に属する国々を中心に広く実施されています。その目的は、各国によって異なるようです。

日本においては、校舎に冷房設備がない場合が多く、太平洋高気圧支配下での授業が暑熱しよねつのため、その期間を休校とするようです。

そして、その期間に期待される教育効果として、普段学校では体験することのできないことを、児童・生徒が挑戦し成長することにあります。

昆虫採集、釣り、キャンプなど普段学校では体験することのできないことを、夏休み期間中に行い、今でも楽しかった子供の頃の思い出として、大切にしている人も多いのではないのでしょうか。

このように、夏休みの思い出を一生の宝としていきたいものですね。

今日の心がけ◆充実した夏休みを過ごしましょう。

みなさんは、スワンプマンという言葉を知っていますか。

スワンプマンとは、1987年、アメリカの哲学者ドナルド・デイヴィッドソンが考案した、人格の同一性問題を考えるための思考実験のことです。

想像してみてください。もしも、自分と全く同じ容姿、同じ記憶、同じ考え方を持った人物が、自分に成り代わって、普段の生活をいつもどおり過ごしているとして、その人物は自分と言えますか？

これには、いろいろな考え方があり、物理主義の立場から見れば、自分のコピーである自分は「同一人物」、観念主義かんねんの立場から見れば、心は別であるため「別人」であるとされています。

ただ、こうした問題には答えはありません。しかし、重要なことは答えを出すことではなく、自分なりの考え方を持つということです。これから様々な問題に直面した時、分からないとやり過ぎるのではなく、自分なりに考えてみることで、心の成長につながるのではないでしょうか。

今日の心がけ◆何にでも自分の考えを持ちましょう。

博多と言えば、もつ鍋、水炊き、とんこつラーメンなど、グルメな人達をうならせる国内屈指くっしの食の街です。そのような食の宝庫とも言える博多で、地元・博多っ子がこだわる食材の一つが「博多名物・明太子」です。

福岡県内だけで150以上のメーカーが切磋琢磨し、味を競い合っています。その明太子の激戦区で売上No.1に君臨くんりんするのが、地元客からの絶大な信頼を得ている「ふくや」です。

10年近くに及ぶ試行錯誤の末、現在の明太子を生み出したパイオニア企業であり、その作り方を地元のライバルメーカーに無償で教えることで、明太子を博多名物に育て上げた企業でもあります。

「自らの利益だけを追求せず、地域と共に生きる道を選び、地域に恩返しをする」というふくやの理念は、第二次世界大戦を経験した創業者である、川原俊夫かわはらとしお氏の信念に基づいているそうです。

私たちも、信頼される人間、集団を目指し、相互成長できる関係を築きあげたいものです。

今日の心がけ◆相互成長を図りましょう。

花火とは、火薬と金属の粉末を混ぜて包んだもので、火をつけ、燃焼・破裂時の音、火花の色、形状などを鑑賞するものです。日本の夏の一番の風物詩ふうぶつしといっても過言ではありません。

花火は、「パツと咲いてシユンと散って夜に打ち上げられた・・・」と表現されることもあるように、一瞬のものではありますが、その一瞬で多くの人を感動させることができる素晴らしいものです。

花火は、基本的に夏にしか必要ありません。

しかし、花火師たちは人を感動させるため、一年がかりで準備してきたのです。

花火が咲くその一瞬には、一年分の努力があり、多くの人の笑顔があるといえるでしょう。

このように、日本の文化は素晴らしいものですね。

今日の心がけ◆日本の文化を大切にしましょう。

近頃、トンボをよく目にするようになりました。みなさんは、トンボのことをどれくらい知っていますか。

トンボは、幼生期であるヤゴの時は水の中の害虫を、成長期には空中にいる害虫を捕食する益虫と言われ、水田の環境に合致するため、水田の害虫をよく捕食します。

他にも、前にしか進まず退かないところから「不転退」ふてんたいの精神を表すものとして、「勝ち虫」とも呼ばれるようです。「不転退」とは、退しりぞくに転てんせず、決して退却をしないという意味で、一種の縁起物えんぎものとして特に武士に喜ばれたとのことでした。

しかし、西洋ではトンボは不吉な虫として考えられ、ヨーロッパでは「魔女の針」などとも呼ばれたりしています。

同じトンボでも文化の違いによって、考え方がたくさんあります。それは他の虫も同じです。もし、好きな虫がいるのなら、その虫について調べてみることはいかがでしょうか。

今日の心がけ◆虫の見方を考えてみましょう。

河童^{かわつば}、化け猫、唐傘^{からかさ}お化け、茨木童子^{いばらきどうじ}に酒吞童子^{しゅてんどうじ}と、日本には、実に多様な妖怪が語り継がれています。

そもそも、妖怪とは、「人間の理解を超える奇怪^{きかい}で異常な現象や、あるいはそれらを起こす、不可思議な力を持つ非日常的・非科学的な存在」とされ、これは、日本古来、自然のものすべてには神が宿るという、「八百万^{やおよろず}の神」の思想に深く根ざしています。

そのため、同じ妖怪でありながら、地域によっては、神として祀^{まつ}られているケースがあり、また、唐傘お化けのように、長い年月を経た道具などに神や靈魂^{れいこん}などが宿った、「付喪神^{つくもがみ}」といった考え方もあります。

こうした思想から、日本人の「自然に感謝する」、「物を大事にする」という精神がきているのではないのでしょうか。しかし、昨今では、このような精神が薄れてきていると思います。

みなさんも、今一度、自身を振り返って、自然を軽視していないか、物を粗末^{そまつ}にしているか、考えてみてください。

今日の心がけ◆自然に感謝し、物を大切にしましょう。

ある中学一年生の女の子が「一人暮らしがしたい」と言いました。その思いを短冊たんざくにも書きました。そして、6年後一人暮らしを始め、最初は一人の時間というのが楽しみで仕方ありませんでした。

しかし、慣れていくうちに「さみしい」と思うようになりました。引越してきた町には、特別仲のいい子がいるわけでもなく、ただただ寂しかったのです。

年末年始、実家に帰り、家族と過ごして「幸せだ」と感じました。自分が思っていた一人の時間が何だったのか、昔の自分はなぜあんなにも一人になりたかったのでしょうか。今振り返ると、人間関係がなかなかうまくいかず「一人の時間」がほしかったように思います。

しかし、一人暮らしを経験したことで、一人では生きて行けないことに気が付くことができたのです。私たち人間は、わがままで素直で単純です。だからこそ、一人では生きていけないのです。

今日の心がけ◆自分のそばにいる存在を大切にしましょう。

9月11日のアメリカ同時多発テロが起きてから1か月後、ある日本の消防官に、知り合いのニューヨークの消防官から「仲間が行方不明になっている、助けてほしい」というメールが来しました。

それから、一緒に「ボランティア」のためにニューヨークに行く仲間を集め、休暇を取り、まだ混乱の残る被害現場で救助活動を行うため、海を渡りました。

彼らの活躍は、ニューヨークのメディアで取り上げられ、その日の作業が終わり街を歩くと、現地の人が「サンキューベリーマッチ」または、日本語で「ありがとう」と口々に言いました。

夕食の時には、ほかのお客さんから最大の賛辞さんじを贈るという意味が込められた、スタンディングオーベーションが行われ、とても感謝されたといえます。

自己を犠牲にしてまで仲間を助けに行く彼らを、日本人として誇りに思います。私たちも、困ってる人がいたら助けに行ける人になりたいものです。

今日の心がけ◆困っている人がいたら助けましょう。

みなさんは、人を笑わせたことはありますか。人を笑わせるという行為は、笑わせる側からしたら、気恥ずかしいかもしれません。笑いがとれなくて、場を凍らせてしまうかもしれません。

しかし、相手を笑わせる事に失敗してしまい、滑ってしまっても良いのではないのでしょうか。滑る事が、笑いに繋がるといふ事もよくあることなのです。この世の中に、100%笑いがとれる人なんて存在しません。それは、みんなそれぞれの感性があるからです。私は、お笑いを専門にしている芸人でさえ、6割は滑っていると思います。それでも、人は人を笑わせようとしています。言葉で笑わせようとするのが一般的ですが、体を使って笑いをとる人もいます。

なぜ、そこまでして笑いをとろうとするのでしょうか。それは、人は笑うことで表情が柔らかくなり、明るい気持ちになれるからです。そして、見ている人にもその感情が伝染していき、その場の全員が共感し一体となることができるのです。

もし、あなたが、人を笑顔にさせたいと思う時がきたら、勇気を出して、思いつき笑いをとってみてはいかがでしょうか。

今日の心がけ◆人を笑わせてみましょう。

宇宙という大きなスケールで見ると、私たちの住むこの地球は、数えきれない星々の中の一つでしかありません。その中の地球に生命が誕生し、現在の姿に至ります。

今では、地球温暖化や砂漠化など多くの環境問題があります。これらの問題は二酸化炭素などの温室効果ガスの排出、森林伐採^{ばっさい}など、私たち人間に原因があります。

日本では、二酸化炭素排出量の約2割は、給油や暖房、ガスや電化製品の使用、電気製品の使用、自家用車の利用などによります。

そのため、日常生活から冷房、暖房の温度を控えめに設定し、燃料や電力の消費を抑えることが大切です。また、ポットやジャーの保温を控え、電化製品の主電源をこまめに切り、長時間使わないときはコンセントを抜くなど、私たちも心がけるべきことが多くあります。

このような日頃の積み重ねが未来へとつながっていくのではないのでしょうか。

今日の心がけ◆日頃の生活から環境を保全していきましょう。

中秋の名月とも呼ばれる十五夜ですが、どのような由来があるか知っていますか。

昔は、十五夜の時には、五穀豊穰ごこくほうじょうへ感謝し、祈っていました。今では、9月15日の夜が十五夜であると一般的に知られていますが、実は、太陰暦たいいんれきによる8月15日の夜が十五夜なのです。

また、十五夜から連想れんそうされるのは、満月に月見団子、ススキだと思えます。月見団子はお米から作られており、豊かに実ったお米を、神様にお供えするという意味があります。

伝統行事には、様々な意味があります。現代になって継いでくれる人がおらず、危機的状况にある行事もあります。

「故ふるきを温たすねて新しきを知る」という言葉もあるように、日本にある良い伝統を守り、受け継いでいきたいものです。

今日の心がけ◆良い伝統を引き継ぎましょう。

満天の星空を眺めると、数えきれないほどの星が瞬いています。その中でもひとときわ青白く輝いているのが、真夏の一等星スピカです。

この星を取り巻く大きな星たちが、ギリシャ神話に伝わる「おとめ座」です。おとめ座の神話は、少し悲しい物語です。農業の女神には、一人娘がいました。果実のような肌と、美しく輝く金色の髪をもつ、それは愛らしい娘だったのです。しかしある日、草原で花を摘んでいると大地が口を開け、中から戦車に乗った青白い男が、むすめをさらい再び大地の中に姿を消してしまいました。

娘がさらわれたことを知らされた農業の女神は、世界中を探し回りましたが、行方を知るものはいませんでした。傷心した女神は、神々の世界を去り地上に降りると、神殿にこもりました。すると、世界中の草木が枯れ、木々は実を実らせることが無くなりました。この悲しみが、冬を訪れさせたといわれています。

いつなんどきも、母が子を思う気持ちは、他の何よりも強く、深いものです。

今日の心がけ◆無償の愛について考えてみましょう。

「シルバーウィーク」とは、秋の大型連休のことです。ハッピーマンデー制度により、敬老の日が、9月の第3月曜日となったことで、2009年に初めて5連休が生まれました。しかし、恒久的な連休ではないため、次は2026年まで、この大型連休は出現しない見込みです。

連休の過ごし方について、社会人になると連休を挽回のチャンスと考える人は多くいます。

それは、日頃なかなか会えない家族・友人、恋人との時間を取り戻そうとする人、何らかの資格を取るための勉強を始める人もいると思います。しかし、私達学生は、普段からコツコツと継続することが大切です。

CPAの学生は、連休の有無に関わらず、これまでの復習や必要最低限の苦手分野の克服に充てることで、連休を有効活用し、自分自身の目標に向かって努力しましょう。

今日の心がけ◆毎日コツコツ努力しましょう。

私が高校3年生のとき、体育大会のリーダーを任されました。リーダーは、自分の学年だけでなく、下級生もまとめなければいけません。最初はとても不安でsした。

夏休みに入って、リーダーだけで学校に集まり、練習をしました。練習を重ねていくにつれて、リーダー同志の絆が深まっていくのを感じ、それと同時に、自分に全員をまとめられるだろうか、という不安が募ってきました。

いざ、練習の日。緊張と不安で心がいっぱいなのなか、練習が始まりました。やはり、最初は思うように従ってくれません。リーダーだけまとまっていればいいや、とさえ思いました。しかし、日が経っていくと、全員がリーダーに付いてくるようになり、一つになっていくのを実感しました。

そのおかげで、本番は大成功しました。残念ながら優勝はできませんでしたが、とてもいい経験になりました。

リーダーをやったことは、全員がまとまることは本当に素晴らしいことだ、ということです。みなさんにも、この瞬間を味わって欲しいものです。

今日の心がけ◆**協調性**をもって日々生活しましょう。

一目では分からない色覚異常。種や性別で発生する割合が異なるものの、先天性、後天性問わず、その病気患者の割合は決して少なくはありません。

色覚異常とは、正常色覚者より色を判断する能力が劣る状態をさし、かつて色盲と呼ばれていたことから、未だにすべての色が白黒に見えるという誤解が残っています。

軽度の色覚異常の場合、日常生活で不便を感じることは少ないものの、色の組み合わせによっては判別が難しいようです。例えば、信号機では、LED化の影響により、以前の信号機と比べ、赤色と黄色の判断がしづらくなつたと言われています。

そのため、赤色の信号機には、特殊なLEDでバツ印を表示するという工夫がされており、2012年2月には、東京都の芝郵便局前交差点に、赤信号にピンク色でバツ印を表示する信号が試験設置されています。

色覚異常は、私たちの身にも起こりうる身近な問題です。もしもの時のためにも、正しい知識を得ることはとても大切かもしれませんね。

今日の心がけ◆正しい知識を身に付けましょう。

夏の夜には必須と言える団扇^{うちわ}。今では、夏祭りやコンサートには、欠かせないほどです。みなさんは、団扇の本来の意味や用途をご存知ですか。

団扇の始まりは、紀元前三世紀で、古代中国の記録や古代エジプトの壁画に描かれています。日本では弥生、古墳時代より出土された木製品でした。

その用途は様々で、主に公家、役人、僧侶の間で古墳祭祀に関わる威儀行列の道具として用いることが多かったようです。しかし、江戸時代になると、涼や炊事等の日常生活道具として庶民にも親しまれるようになりました。また、「あおぐ」「はらう」そして「楽しむ」道具としての意味が大きくなりました。

このように、私達が無気なく使っているものにはきちんとした歴史があるのです。たまには一つの物事を詳しく知ること、意外な発見や疑問が浮かび、興味が湧くのではないのでしょうか。

今日の心がけ◆一つの物事に興味を持ってみましょう。

これは、小学生のときのKさんの話です。

Kさんは、漢字の筆順テストが苦手で、なかなか正しい筆順で書けませんでした。その影響で、漢字そのものが苦手を感じるようになりました。

そんなあるとき、担任の先生が教えてくれたことがあります。「まずは、正しい正しくないの前に、好きなように書いてみるといいよ。筆順なんかきれいに見えるように書けばいい。」

その先生の言葉のおかげで、漢字を好きになることができたKさんは、自分から進んで漢字を学ぶようになりました。

決まった筆順に従おうとしていたKさんのように、みなさんもなにか困ったことがあったら、自由に行動すると良いかもしれませぬね。

今日の心がけ◆苦しい時は、楽しめるように工夫しましょう。

挨拶は、人に会ったときや別れるときなどに取り交わす動作や言葉です。特に、初対面の人に好印象を与えるためには、挨拶が重要です。

挨拶は、仏教の禅宗で使われている「一挨拶」が語源とされています。挨拶は「押す」は「迫る」という意味です。つまり、挨拶とは「押し迫る」ということです。本来は、師が弟子の心の深淺を推察し、弟子が師匠に応答を迫るといふ、心と心のぶつかり合いを意味する言葉なのです。

挨拶は、コミュニケーションの基本です。立ち止まって笑顔で挨拶をすることで、よい印象を与えることができます。しかし、外で挨拶をしている人でも、家族との挨拶も同じようにしているでしょうか。

小学生のころは、家族に対して元気よく「おはよう」や「いってきます」と言っています。しかし、が年齢が上がるにつれて家族間での挨拶は減っていきます。埼玉県調べによると小、中、高校生で挨拶をしない家庭ほど、生活の満足度は低くなっています。挨拶をすることは、当たり前前のことですが、本当に当たり前前にできているでしょうか。みなさんも挨拶を見直して、誰にでも挨拶をしましょう。

今日の心がけ◆誰にでも気持ちのいい挨拶をしましょう。

財閥とは、1900年前後に生まれた造語であり、「家族または同族によって出資された親会社が中核となり、支配している子会社に多種の産業を経営させている企業集団」のことです。

有名なのは、戦前の「三井・三菱・住友・安田」の四大財閥であり、これらは、戦後GHQに「軍国主義を後押しするものである」との主張により解体されてしまいました。

しかし、現在でも財閥の流れをくんでいる「三井・住友」などは、グループ企業として集まり、「三井住友銀行」などの経営を行っています。

日本に現存する企業数は、約400万社前後と言われており、そのうち大企業の割合は1割程度で、ほとんどが中小企業です。

もちろん、複式簿記の学びを深めることも大事なことですが、日本経済を取り巻く社会情勢などにも目を向けてみると、より複式簿記の学びも面白くなるかもしれません。

今日の心がけ◆**社会にも目を向けましょう。**

稲盛和夫氏は、「京セラ」並びに「KDDI」の設立者であり、近年では、1兆円近くの債務超過状態に陥り、再建は不可能とまで言われた「JAL」を、会長就任からわずか二年で営業利益200億というV次回復を成し遂げた、戦後日本を代表する経営者です。

稲盛氏は、自身の著書の中で、「会計は現代経営の中枢をなすものであり、経営者は会計原則、会計処理にも精通していることが必要」と著しており、会計の重要性を謳われています。

稲盛氏が経営を行っていく中で、自らの経営哲学を実現するために創り出した経営手法の一つに、「アメーバ経営」というものがあります。アメーバ経営は、まず、組織が知恵を絞り、努力することで、アメーバの目標を達成していきます。そうすることで、現場の社員ひとりひとりが主役となり、自主的に経営に参加する「全員参加経営」を実現することができます。

このアメーバ経営は、「京セラ」をはじめ、「KDDI」や「JAL」にも導入され、企業を支える役割となっています。

稲盛氏が、「アメーバ経営」について書かれている本も出版されているので、会計を学ぶ我々も是非読みたいものです。

今日の心がけ◆**アメーバ経営を学びましょう。**

「ナンバ」とは、同じ側の手と足を動かして歩く動作のことをいいます。

江戸時代以前の日本では、ナンバ歩きが一般人の間で広く行われていました。竹馬での歩行はナンバそのものであり、ゴリラの走り方もナンバです。しかし、明治初期に徴兵制が導入され、今の歩きになりました。ナンバとは自然体なのです。

ナンバについてスピーチをしていたウィリアム・リードさんは、「頑張ることは、踏ん張ること・力を入れること。力を入れると心も体も不安定になってしまう。」と語っています。頑張ることを否定しているのではなく、自然体で取り組もうということではないでしょうか。それを、言葉にしたのが「ナンバレ」です。

ナンバを学び、それをスポーツや音楽に活かしている人、夢を叶えた人をナンバリストと呼んでいます。ナンバリストはいつも自然体でいます。

ナンバの原則は、踏ん張らない・ねじらない・うねらないことだそうです。ときには、力を抜いてナンバってみるのも良いかもしれませんね。

今日の心がけ◆ナンバリましょう!!